

平成 30 年度

樹木調査 中間報告書
(第 2 四半期)

平成 30 年 10 月

広島県緑化センター

1. 豪雨災害による再調査

平成 30 年 7 月 6 日夜からの豪雨により、園内を流れる麻下川が氾濫し、多くの樹木が倒伏した。麻下川周辺の樹木は平成 29 年度の樹木調査で実施した範囲であるが、根の洗掘等によって新たに倒伏の恐れがある樹木があることから、再度調査することとした。

前回調査してから 1 年未満であることから、今回の再調査では主幹の打音点検や鋼棒による根際点検等は省略し、目視による点検と揺すりによる強制点検を行った。

2. 調査本数

麻下川沿いの高木 約 本

3. 調査結果

1) 危険木と判定された樹木

緊急性の高いものを◎、それ以外を○で示す。

緊急性	本数	内訳 樹種別本数							
		スギ	マツ	サクラ	モミジ	ケヤキ	クスノキ	広葉樹	針葉樹
◎									
○									
合計									

2) 処置結果

調査の際に、緊急性が◎と判定された 34 本の樹木には、ピンク色のカラーテープを、○と判定された樹木には黄色のカラーテープを巻きつけた。また、すべての危険木には数字を記したナンバリングテープを貼り付けた。

緊急性が◎の樹木 34 本は、9 月 1 日の部分開園日までにすべて伐採した。

添付資料

- ・調査野帳
- ・調査位置図
- ・業務写真集